

2008年11月27日
株式会社トクヤマ

各位

マレーシア、サラワク州における 多結晶シリコン第二製造拠点の基本設計開始のお知らせ

株式会社トクヤマ（以下トクヤマ）は、多結晶シリコンの事業拡大のため、同製品の第二製造拠点として、マレーシア、サラワク州サマラジュ工業団地に絞り、基本設計を開始することを決定した。

トクヤマは、中期経営計画において多結晶シリコンを戦略的成長素材と位置づけ、積極的に事業の強化を図っており、現在の徳山製造所（山口県周南市）における年産5,200トンの能力を、2009年春に年産8,200トンに引き上げる計画である。一方、多結晶シリコンの需要は、太陽電池向けなどで急拡大しており需要家からの引き合いも旺盛であるが、トクヤマの多結晶シリコン製造拠点は徳山製造所のみであり、リスク分散の面からも第二製造拠点の建設が急がれている。

そこで本年4月、トクヤマは多結晶シリコンの第二製造拠点を選定するプロジェクトを立ち上げ、国内外で第二製造拠点の選定を進めてきたが、マレーシア、サラワク州ビンツル市から北東50kmに位置するサマラジュ工業団地の海岸沿いの土地約200haが最適と判断した。今後、この地を対象にして多結晶シリコン第二製造拠点の基本設計を開始し、2009年半ばには完了の見込み。なお、基本設計は、千代田化工建設株式会社とパートナーリング契約を結び進める。

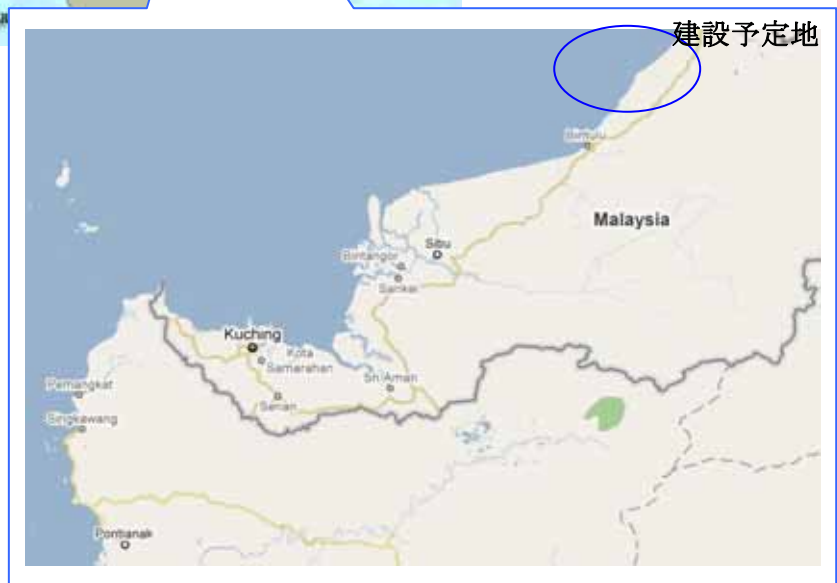
多結晶シリコンの製造には、大量の電力をはじめとして、工業用水、労働力などの資源が必要であり、サラワク州サマラジュ工業団地はそれら資源に恵まれている。加えて、税制面の優遇策や連邦政府・州政府の許認可におけるサポートを受けられること等が同工業団地選定の理由である。

[計画の概要]

計画場所	マレーシア、サラワク州ビンツル市北東のサマラジュ工業団地
敷地面積	約200ha（約200万平方メートル）
事業内容	半導体・太陽電池向け多結晶シリコンの製造・販売
事業計画	2012年に年産3,000トン規模の製造設備の稼動を計画。以降、半導体・太陽電池の需要動向を注視し増設を検討する
雇 用	約300人の現地従業員を採用する計画

本件に関するお問い合わせ先
株式会社トクヤマ 広報・IRグループ
TEL 03-3499-8023

【サラワク州 サマラジュ工業団地の概要】



【多結晶シリコンについて】

珪素(Si)は約 100 種類ある元素の一つで、通常、酸化物（珪石）として存在している。地表付近での含有量は酸素の次に多く無尽蔵だといえる。

多結晶シリコンはこの珪石から作られる。作り方は、まず珪石を炭素で還元して純度約 99%の金属珪素を作る。金属珪素を原料にしてトリクロロシランを製造し、蒸溜精製を行って純度を高め、ベルジャーという特殊な反応器中で 1,000℃付近で水素による還元を行い、棒状の高純度多結晶シリコン 99.999...%(イレブンナイン)を析出させる。これが多結晶シリコンである。

多結晶シリコンは、単結晶シリコンウエハー、単結晶・多結晶型太陽電池に用いられる半導体分野の基盤材料である。